



「トガリネズミ4種がいる恋問海岸は素晴らしい」と話す河原氏

TOPIC 4
8/27
自然環境保護の意識を高める
トガリネズミのお話の会

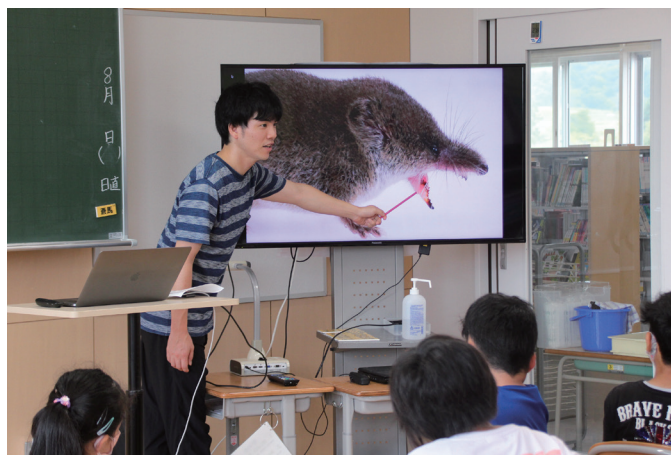
「トガリネズミのお話の会」が公民館で開かれ、環境省希少野生動物種保存推進員の河原淳氏と、自然写真家・ディレクターの六田晴洋氏、多摩動物公園職員の川上壮太郎氏の3人が、それぞれ講演しました。

「トウキョウトガリネズミの秘密」と題して講演した河原氏は、名前の由来や個体数が少ないと言われていた理由などを説明。鶴居村から訪れた大沼正人さん(50)は「恋問にトガリネズミがいるのを知らず、今日は貴重な話が聞けて良かったです」と話していました。

TOPIC 5
8/28
自然を大切にしてほしい
トウキョウトガリネズミの授業

白糠学園の3年生が「総合的な学習の時間」で町内に生息するトウキョウトガリネズミについて学びました。

講師は、自然写真家・ディレクターの六田晴洋氏。六田氏はトウキョウトガリネズミの生態や特徴などを説明し「トウキョウトガリネズミが生きられるのは、自然環境が整っているから。自然を大切にしてください」と話していました。児童たちは「名前にトウキョウが付いているのはなぜ?」「心臓はどれくらい大きい?」などと、たくさんの質問をしていました。



トウキョウトガリネズミの生態について説明をする六田氏

TOPIC 6
8/28
羊の歴史や魅力を学ぶ
茶路めん羊牧場武藤さん羊の授業

ふるさと納税給食の日に合わせて、白糠学園の5年生がふるさと教育の一環として、茶路めん羊牧場の武藤浩史さんを招いた「羊の授業」を行いました。

武藤さんは、古代メソポタミアの壁画に羊が描かれていたことから、約1万年以上も前から家畜化されていたという羊の起源を話し「羊は群れる習性があったため飼いやすかった。だから“群”の中には羊という字が入っているのです」と説明しました。児童たちは時々質問しながら、興味深く羊の話聞いていました。



羊毛を順番に触って感触を確かめる児童

TOPIC 1
8/19
丁寧に碁を指導
初心者囲碁教室

町文化協会が主催する公民館月例活動発表会「初心者囲碁教室」が公民館で開かれました。

囲碁教室では、囲碁同好会(森池順一会長)のメンバーが、教室を訪れた方に囲碁のルールや基本的な打ち方などを教えました。

久しぶりに碁を打ったという日野はるかさんは「丁寧に教えてくださり、とても分かりやすくて楽しかったです」と笑顔でした。森池会長は「こうした活動で囲碁愛好家が増えたらうれしい」と話していました。



久々の碁を楽しんだ日野さん(左)

TOPIC 2
8/26
ふらっと来て楽しんで
第2回「ふらっとbコンサート」

情操教育指導者の山田陽子さんと斉藤弥音さんによる「ふらっとbコンサート」が公民館で開かれました。

この日は、ユーフォニアム演奏者で白糠高等学校の永村英美教諭を招き「白鳥」など、b(フラット・半音下げる記号)を使った全5曲が披露されました。

自身でもユーフォニアムを演奏しているという武田姫奈さん(白糠学園8年)は「とてもきれいな音色で自分も同じように演奏できたらと思いました」と話していました。3回目は10月14日、11時からの予定です。



ピアノと歌とユーフォニアムによるコンサート

TOPIC 3
8/27
米やみそなどを無料配布
陽向ぼっこ「食料品無料配布事業」

子ども食堂を運営しているNPO法人陽向ぼっこ(儀同一義代表理事)は、「むすびえ・子ども食堂基金」を活用し、「食料品無料配布事業」を実施しました。

この日は、町内のひとり親世帯など80世帯を対象に、米やみそ、サラダ油など5品を配布しました。

姥名たみ子さんは「食料品も値上がりしているの、たくさんいただいて助かります」と感謝していました。

儀同代表は「少しでも力になればうれしい。今度は灯油の助成を検討しています」と話していました。



食料品を受け取る姥名たみ子さん(左)